

平成24年度
事業実績報告書

申請者の概要

申請者	団体名	富田林商工会	
	代表者職・氏名	会長 金谷 一彦	
	所在地	〒584-0012 富田林市粟ヶ池町2969-5	
	担当者	職・氏名	事務局長 藤本 佳伸
		連絡先	電話番号（直通）： 0721-25-1101
Fax: 0721-25-9009			
E-mail: info@tonshow.or.jp			
①設立年月日	昭和37年7月22日		
②職員数 (うち経営指導員数)	10名(10名)		
③所管地域	富田林市・南河内郡河南町・太子町・千早赤阪村		
④管内事業所数	4,916		
⑤管内小規模事業者数	3,369		
⑥会員数(組織率)	2282(46.4%)		
※②、④、⑤、⑥については直近の数字を記載のこと			
□主な事業概要(定款記載事項等)			
(1) 商工業に関し、相談に応じ、又は指導を行うこと (2) 商工業に関する情報又は資料を収集し、及び提供すること (3) 商工業に関する調査研究を行うこと (4) 商工業に関する講習会又は講演会を開催すること (5) 展示会、共進会等を開催し、又はこれらの開催のあっせんを行うこと (6) 商工業に関する施設を設置し、維持し、又は運用すること (7) 商工会としての意見を公表し、これを国会、行政庁等に具申し、又は建議すること (8) 行政庁等の諮問に応じて、答申すること (9) 社会一般の福祉の増進に資する事業を行うこと			

富田林商工会

(1) 事業の目標

今年度も小規模事業者における経営の安定、改善、革新に取り組む事業者に対しその経営課題を経営指導員が整理し個々の事業者が抱える経営面での課題解決に向けて支援機関とも連携をとりながら経営支援を行う。支援を行うことにより事業者の経営の安定と発展に寄与することを目標とする。

一方、地域活性化事業についてはこれまで実施してきた富田林ブランド認定事業、富田林駅南地区まちづくり推進事業を単独事業として実施またITツール活用支援事業と地域若者キャリア形成事業、三市商工観光連携事業等を広域事業として実施し近隣他団体との広域実施による相乗効果も図りながら事業を推進する。また府施策連携事業として求人・求職マッチング事業を実施し地域の独自性を生かしながら地域産業の活性化を図る。

(2) 事業を実施した具体的な内容、方法及び工夫した点

経営相談支援事業については経営指導員が日頃の相談を通じて事業者の課題ニーズに対応し事業者が抱える様々なニーズに基づき支援を行い課題解決に向けて取り組んだ。専門的・高度な課題に対しては関係機関や専門家とも連携を図り課題解決支援を積極的に実施した。地域活性化事業では今年度も経済活動向上につながる富田林商品ブランドの認定に取り組み地域観光資源の情報発信を実施した。地域のまちづくりの活性化に向けた支援としては富田林駅南まちづくり推進事業を実施し管内地域の雇用の安定と人材確保を目的とした事業として求人・求職情報フェアを開催した。またITスキルの向上、新規販路の開拓を目的としてITセミナーを実施し業務の効率化を図れるよう支援した。それぞれの事業において事業者が抱える個別の相談にも対応し経営相談事業との相乗効果を図るよう努めました。

(3) 事業を実施した効果、所管地域の活性化の状況

経営相談支援事業においては管内小規模事業者が抱える様々な経営課題に対して専門家とも連携を図りながら迅速な解決に向けて支援を実施することができた。また当初の目標とおりの課題解決に向けた支援を概ね行うことができた。地域活性化事業においては富田林市の特産品をブランド化し情報発信したことにより市内観光事業の活性化が図れ地域の振興や発展にも貢献することができた。関係官庁と連携をとり求人・求職マッチング事業を開催、面接会や各種相談会を実施し高齢者雇用についても研修会や面接会等の事業を実施し雇用創出に貢献することができた。ITツールを活用した各種セミナーについては事業者のスキルアップを目指して支援を図り企業内でのIT化の促進を図ることができた。

また今年度は地域若者キャリア形成支援事業を実施し地域の中小企業の人材確保に結びつけることができ事業を広域連携することにより若者にとって対象企業の拡大や地域間連携を図ることができた。

(4) 事業を実施した結果浮かび上がった課題

日本経済が低迷を続けている中、少子高齢化等の進展や小規模企業の減少により地域の経済もより一層厳しいものとなっており経営指導を行う上でも事業者の抱える問題は以前にも増して切迫したものになっており事業者が環境変化に即応できるような経営体質を作り上げていくための支援が重要になってきている。今後も小規模事業者が抱える様々な経営課題に対し解決していくために経営指導員だけでなく関係支援機関や専門家とも連携を図り継続して支援を実施する必要がある。

さらに地域活性化事業における求人・求職マッチング事業に地域若者キャリア形成事業については景気低迷の影響もあり求人を募集する企業も少なく企業にとっては優秀な人材の確保がし易くなったが企業と求職者の需要において課題が残ることとなった。

(5) 来年度への取り組み

経営相談支援事業では事業者が抱える様々な相談ニーズに対応し専門家とも連携を図りながら課題解決に向けて積極的に支援を行います。小規模企業を取り巻く環境はこれまで以上に厳しい状況が続いていますが地域の活性化に向けて行政と地域団体とも連携しまちづくりを推進し管内特産品の情報発信をも行い地域の活性化に向けて貢献します。実施事業に参加した事業者からの相談支援事業への拡充を図り課題解決に努めることとする。今後も引き続き地域の再生、小規模事業者の発展のために事業を進めていきます。来年度も小規模事業者が抱えている課題解決に向けて金融、経営革新、販路開拓支援など各支援策を講じて事業者に対応していきます。

富田林商工会

I 経営相談支援事業

支援のポイント・成果

経営相談支援事業については中小企業者が抱える課題解決に経営指導員が取り組んだ結果、目標数値を達成する結果となった。支援内容については今年度は事業計画作成支援が121件、労務支援が121件といずれもウエイトが大きく、この2項目で5割弱を占めている。また売上低迷下の時代を反映して財務分析と金融支援のウエイトが大きく需要の高さが伺われる。金融支援では日本政策金融公庫へのマルケイ融資や普通貸し付けのあっせんを行い資金面での支援を行いました。経営課題への対応を実施し事業者の資金ニーズに応えることができました。

また事業者の売上低迷からの脱却を支援するため販路開拓支援を実施、販路促進につながる地域活性化事業ともリンクしながらサービス提案を行い経営相談事業と地域活性化事業の相乗効果を出しました。経営指導員が親切に密接な支援をした結果、アンケートにおける利用者満足度についても評価の高い結果となり商工会における信頼を高めることができました。

事業者に対する具体的な推進方法として相談者の来所による窓口相談をはじめ経営指導員が管内の事業者に能動的に出向いて相談者とのヒアリングを通じて聴衆・収集した情報を踏まえた上で潜在的な経営上の問題点も拾いあげました。代表事例としては製造業者で円高や景気低迷により売上不振で経営革新を図りたいとの相談ニーズに対し財務分析を行い事業者の経営状態を把握し会社の弱みや問題点を見つけ次の段階としてコスト削減計画作成支援を実施した。合わせて就業規則の整備改善を実行するため労務支援を行い工場環境改善を図るため5S支援並びに人材育成計画作成支援を関係支援機関や専門家の協力を得て実施しました。経営全般にわたる支援を実施した結果、自社の経営上の弱みや改善点を把握することができ経営革新を行うことで健全な経営状態にすることが可能となり経営相談支援の成果は充分にあったと思われます。

支援メニュー	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価
事業所カルテ・サービス提案	事業所	458	459	100.2%	5
支援機関等へのつなぎ	支援数	27	27	100.0%	5
金融支援（紹介型）	支援数	14	16	114.3%	5
金融支援（経営指導型）	支援数	70	67	95.7%	4
マル経融資等の返済条件緩和支援	事業所	2	2	100.0%	5
資金繰り計画作成支援	事業所	0	0	#DIV/O!	5
記帳支援	支援数	19	20	105.3%	5
労務支援	支援数	132	134	101.5%	4
人材育成計画作成支援	事業所	8	9	112.5%	5
マーケティング力向上支援	事業所	0	0	#DIV/O!	
販路開拓支援	事業所	93	98	105.4%	5
事業計画作成支援	事業所	0	0	#DIV/O!	
創業支援	事業所	1	2	200.0%	5
事業継続計画（BCP）作成支援	事業所	121	121	100.0%	5
コスト削減計画作成支援	事業所	17	18	105.9%	5
財務分析支援	事業所	50	43	86.0%	4
5S支援	事業所	44	46	104.5%	5
IT化支援	事業所	5	6	120.0%	5
債権保全計画作成支援	事業所	0	0	#DIV/O!	
結果報告	事業所	458	459	100.2%	5

+

支援のポイント・成果

小規模事業者の専門的分野としての経営課題解決に向けた個別の相談案件に対応するため専門相談支援事業を実施しました。当会としては税理士の専門家の団体の協力を得て無料個別相談を平成25年2月～3月の確定申告期に4日間実施しました。相談件数は8件の実績数で個別相談として事業者が抱える専門的な税務問題に対して税理士があたり課題解決に向けた相談会を実施しました。

個別事業主の決算期に専門相談支援事業を実施した結果、専門的分野の支援から事業所が抱える問題が軽減することができ専門的悩みの解決に役立てることができました。

事業名	新規/継続	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価
税務支援	継続	相談延べ件数	4	8	200.0%	5
					#DIV/O!	
					#DIV/O!	
					#DIV/O!	
					#DIV/O!	
					#DIV/O!	

富田林商工会

Ⅲ 地域活性化事業

支援のポイント・成果

地域における商店街も事業主の高齢化やそれに伴う後継者不足等の問題が山積みしている中で地域活性化に繋げる事業として富田林駅南地区まちづくり推進事業を実施し「富田林じないまち」を中心としたまちづくりをテーマに実施した結果、新規創業の店舗も増え事業に対する気運も高まってきた。富田林市の特産品をブランド化し情報発信することにより市内観光事業の活性化を図ることを目的とした富田林ブランド認定事業においても今年度も積極的に事業をすすめた結果、認定事業者も増え地域特産品のPR効果も浸透してきた。ITツール活用支援事業においては今年度も継続実施し事業者も研修会に参加することで業務の効率化が図れ事業を多角的に展開する上で役立てる事業となりえた。人材を求める事業者と働く意欲のある求職者を結びつける事業として求人・求職マッチング事業を実施した結果、事業所にとって優秀な人材を確保することができ高年齢者雇用における理解をしてもらうことができ企業の人材確保並びに雇用安定に資することができた。

また今年度は新しい事業として地域若者キャリア形成事業を実施し大阪産業の将来を担う若者と企業とを結びつけ新しい雇用の創出につなげることを目的としてマッチング事業や研修、職場体験ツアーを実施した。結果多くの若者と企業とのマッチングを図ることができ各企業においても雇用に至ったケースとなりうる事ができた。また各地域と広域で地域活性化事業を実施し多岐に亘った幅広い事業を実施した結果、支援事業所の成長、改善等に貢献することができた。

(1) 単独事業

府施策連携	事業名	支援対象企業	支援企業	支援実績率	利用者満足度(点)	目標の指標	目標値	実績	達成率	事業評価
	富田林ブランド認定事業	12	16	133.3%	86	自社製品のPRすることによる販路拡大支援に伴う売上増加	10	10	100.0%	5
	富田林駅南地区まちづくり推進事業	30	30	100.0%	100	事業を実施した結果の利用者満足度数	80	88	110.0%	5
○	求人・求職マッチング事業	30	33	110.0%	96	参加企業のうち採用に至った企業数	7	14	200.0%	5
				#DIV/0!					#DIV/0!	
				#DIV/0!					#DIV/0!	
				#DIV/0!					#DIV/0!	
				#DIV/0!					#DIV/0!	
				#DIV/0!					#DIV/0!	
				#DIV/0!					#DIV/0!	
				#DIV/0!					#DIV/0!	
				#DIV/0!					#DIV/0!	

(2) 広域事業(幹事事業のみ)

府施策連携	事業名	支援対象企業	支援企業	支援実績率	利用者満足度(点)	目標の指標	目標値	実績	達成率	事業評価
	ITツール活用支援事業	147	163	110.9%	82	対象に対してITスキルの活用度の増加及び販路拡大事業者の増加	70	80	114.3%	5
○	地域若者キャリア形成事業	160	141	88.1%	78	雇用の創出ができた企業割合	5	4	80.0%	4
				#DIV/0!					#DIV/0!	
				#DIV/0!					#DIV/0!	
				#DIV/0!					#DIV/0!	
				#DIV/0!					#DIV/0!	
				#DIV/0!					#DIV/0!	
				#DIV/0!					#DIV/0!	
				#DIV/0!					#DIV/0!	
				#DIV/0!					#DIV/0!	
				#DIV/0!					#DIV/0!	
				#DIV/0!					#DIV/0!	
				#DIV/0!					#DIV/0!	
				#DIV/0!					#DIV/0!	
				#DIV/0!					#DIV/0!	

※府施策連携事業は、「府施策連携」欄に○をつけてください。各欄の記載は、個別調書の記載と合わせてください。

富田林商工会

事業名		富田林ブランド認定事業							
想定する実施期間		22 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	富田林市内小規模事業所において、商品力はあるが販売ルートが確立されていなかったり、事業展開が思うように進んでいない商品(製品)が多々ある。そのような商品(製品)を富田林ブランドとして認定しPRすることにより販路の拡大や新規顧客の開拓等新たな事業展開を支援する。また、富田林市の特産品をブランド化し情報発信することにより、市内観光事業の活性化が図れ、地域振興や発展に貢献することができる。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	富田林市内の小売、サービス、製造、農林業等含めた全事業者							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	9月と2月の年2回、富田林市の広報誌や商工ニュース、富田林商工会、富田林市ブランド認定委員会のHP等でブランド認定事業者を募集し、富田林ブランド認定審査会を開催、認定商品を選定する。(今年度は10月に2事業所、2商品、3月に5事業所、5商品を認定)富田林ブランド商品に認定された商品については事業者へ認定証、ブランド認定ロゴシールを発行。また、富田林市内及び大阪府内外でのイベント等PR可能な場所へはブランド認定委員会として出店しブランド商品の積極的な周知、PR活動を実施する。今年度は富田林市観光協会と業務提携を図り、ネットを利用し、消費者が直接購入できるような仕組みを制作、PR及び販売活動を実施する。現在の認定商品(楽豆シリーズ、寺内町せんべい、寺内町あてまげの辻、富茶粥、富ぼうし、生活改善クラブ地場産物、河内ボン酢、はちみつ、ローヤルゼリー、寺西さんちのクリームパン、洋傘 咲、さしみ卵、かんぱしカレー、あかねこ餅、こんがら童子(和菓子)、ぼん大福、なす味噌)							
		<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携							
②広域連携									
③市町村連携	市広報にブランド認定事業者の募集要項を掲載。認定委員会へオブザーバーとしての参画。市と共同で事業実施をすることで、事業自体の波及効果が高い。								
④相談相乗									
事業の実績/目標達成度	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	12	支援企業数(実績)	16	支援実績率	133.3%	満足度	86
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	富田林ブランド商品として認定を受け、様々な場所でPR活動を行うことにより、商品の知名度はもとより、事業所自体の知名度も上がり、それに伴い新規の顧客が店舗を訪れ、新たな販売先を開拓できたことにより、売上の増加に繋がった。また、売上が増加したことにより新たな商品の開発へと積極的に取り組む姿勢が見られ事業意欲にも大きな変化が見て取れた。							
		指標	自社製品のPRすることによる販路拡大支援に伴う売上増加						
		数値目標	10%	実績数値	10%	目標達成度	100.0%		
	成果の代表事例	売れ行きの悪かった商品が、ブランド認定商品として販売、PRしたことで知名度が上がり売上等が増加、一定の成果は得られた。							
その他目標値の実績	目標値(計画)	目標値(実績)			目標達成度		#DIV/0!		
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	新規顧客の開拓や新しい販売先の確立等店舗の売上に対しては成果が確認できたが、商品自体の性質もあり登録事業者全体に効果が波及しているとは言い難い。今後は商品開発の部分でも積極的に参画し、専門家等も交えながら売れる商品づくりを目指して支援していく必要がある。							

富田林商工会

事業名		富田林駅南地区まちづくり推進事業							
想定する実施期間		22 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	大阪府下で唯一国の重要伝統的建造物群保存地区にも選定されている「富田林じないまち」を中心とした伝統的町家で昔ながらのたたずまいが残るこのまちを「賑わい」と「おちつき」のあるまちづくりを目指して取り組んでおり地元住民と商業者、行政が一体となり当地区の四季折々の行事やまちなみを地域外の人に愉んでもらうことを目的として「寺内町四季物語」を実施す。地域活性化に向け魅力あるまちづくりを目指す。又事業を実施することで新規の顧客の獲得も目指すことを目標とする。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	駅前から寺内町を中心とする商店会に属する商店を対象とする。まちづくり協議会の商業部門である「にぎわい部会」に参画する商店を対象とする。							
	は	1年を通して地域住民と行政と商業者が中心となり三者が一体となりコミュニティビジネスを目標とした「じないまち四季物語」を実施した。また地域の商業者がおすすめするええもん・ええ話・地域の歴史名産・特産品等盛りだくさんの情報を詰め込んだマップを2年がかりで完成させそれぞれのイベントで販売する。また商店街観光ツアー「ええもん・ええとこ再発見ツアー」を実施し知る人ぞ知る技、歴史ありの隠れた名店や普段は見ることのできないお店の裏側、その道に精通した店主からの聞けるお宝情報など商店街の素顔を再発見するツアーを実施する。商業活性化やまちづくりに役立てることを目標とする。							
		<事業手法 (①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果) の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携		②広域連携		③市町村連携	商業者と行政が一体となりまちの活性化に努めお互い協力しあいながらまちなみを形成する	④相談相乗	事業を実施する中で商業者を支援し相談に応じる。販路拡大を含め支援を行った。
事業の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	30	支援企業数(実績)	32	支援実績率	106.7%	満足度	100
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	従来から「四季物語」のイベントにおいて周辺の商店が創意工夫して物品販売を行い販路拡大に繋がる努力を事業を通じて実施した。また今年度は商業活性化に向けた取り組みとして商店街ツアー「ええもんええとこ再発見ツアー」を実施し商業者自らがガイドとなり個店や商店街、商店街のある地域の魅力を参加者に紹介しツアーを通じて新たな顧客やファンの獲得を狙った。また商業者の部門である「にぎわい部会」においては「商店街の魅力づくり」をテーマにマップの販売と商店街活性化に資する社会実験実施に向けた他地区の視察、講師を招いての勉強会を実施した。事業を実施したことで地域のまちづくりと商業の活性化に貢献することができた。							
		指標	事業を実施した結果の利用者満足度						
		数値目標	80	実績数値	88	目標達成度	110.0%		
	成果の代表事例	今までは顧客も地元住民だけであったが現在ではイベントを通じて他地区の顧客も多数訪れるようになりリピーターとなった顧客もあり販路拡大を十分に図ることができた。又地域住民と連携して事業に参画したことでまちづくりに対しても貢献することができた。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度	#DIV/0!			
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	継続して事業をした結果、地元商業者も多く賛同してもらうことになったがまだこの事業に対して後継者がいないなどの理由で理解を得られない商店も多く今後の事業展開していく上での課題が残る。事業に対して気運が高まっている現在、商業者の「賑わい部会」に積極的に参加してもらい、まちづくりについて一緒に検討する必要があると思われる。また「賑わい部会」においてもお互いに創意工夫を凝らした事業を継続して実施し販路拡大と新規創業の商店の増加を目ざし地域の活性化を図ることとする。							

富田林商工会

事業名		求人・求職マッチング事業							
想定する実施期間		22 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	長引く景気低迷の中、事業者にとって優秀な人材確保が必要であり一方雇用情勢の厳しいなかで求職者の増加が続いており人材を求める中小事業者と働く意欲のある求職者を結びつけるために事業を実施する。また豊富な知識・技術・経験を有する高齢者を活用してもらうことを目的として高齢者雇用を対象とした事業に取り組み地域レベルでのマッチングを図る。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	管内の求人を求める事業者を対象とする。若年者だけを対象とせず高齢者雇用においても理解をしめす全事業者を対象とした。 支援企業数は30社							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>1、名称：求人・求職情報フェア 日時：平成24年9月13日(木 午後1時～4時 会場：富田林市「すばるホール 銀河の間」 参加企業：17社(うち富田林商工会管内企業数 7社 入場者数：152人</p> <p>2、名称：「高齢者雇用促進に係る企業研修会・啓発活動の推進」 日時：平成24年11月13日(火) 午後3時～4時30分 参加企業数：16社</p> <p>3、名称：高齢者雇用促進に係る企業巡回訪問について 実施時期：平成24年11月1日～30日 訪問企業数10社</p> <p><事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載></p> <p>①府施 大阪府総合労働事務所とは密接に連携をとりPRも含めて当日のマッチング事業を進めることができた。</p> <p>②広域連携</p> <p>③市町村連携 市町村とは求人を求める企業と求職を求める人材とのお互いの役割を果たし連携をとることができた</p> <p>④相談相乗 人材育成や就業規則作成</p>							
	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	30	支援企業数(実績)	33	支援実績率	110.0%	満足度	96
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	平成24年9月13日に実施した求人・求職情報フェアにおける合同就職面接会において7社が参加し求職者とのマッチングを図ることで求めている人材の確保ができた。人材確保が優先課題である企業に対し課題解決の場となしえることができた。また平成24年11月13日に開催した「高齢者雇用促進に係る企業研修会と啓発活動の推進」において参加した16企業についてはそれぞれの企業が高齢者の雇用の活用と定年制の見直しという課題について検討することとなり雇用における糸口となり定年後も働ける環境づくりの整備を進めていくこととなった。 平成24年11月1日～30日の期間で「高齢者雇用促進に係る企業巡回訪問をシルバー人材センターと共同で実施し訪問企業数10社において高齢者を含めた人材の確保に向け採用を検討することとなり雇用創出における支援を図ることができた。							
事業の実績/目標達成度	成果の代表事例	求人・求職情報フェアに参加した企業のうち半数が面接会において採用することとなり又高齢者雇用に対して関心がなかった企業に対して説明会や企業訪問を行うことで理解をしめしてもらうことができ雇用につながった企業も多かった。成果として目標を上回る企業数であった。							
	その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度	#DIV/0!		
	指標	参加企業のうち採用に至った企業数							
	数値目標	7	実績数値	14	目標達成度	200.0%			
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	景気低迷が続いている中、思ったより求人・求職フェアに参加する企業が少なかった。また企業によって求職者の面談希望者数にばらつきがあり求職者へのPR方法について検討をおこなう必要があると思われる。また高齢者雇用促進に取り組んだがまだまだ理解をしめす企業も少ないことから今後も継続して積極的に取り組む必要があると思われる。							

富田林商工会

事業名		ITツール活用支援事業								
想定する実施期間		23 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること								
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	事業を多角的に展開する上でITツールの活用は必要不可欠である。そこで、今話題性のあるSNSやクラウドサービスの講習会を実施することにより、企業内でのIT化の促進、ITスキルの向上やITを導入することによる業務の効率化等が図れるように支援することを目的とする。								
	支援する対象 (業種・事業所数等)	管内小規模事業所								
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<ul style="list-style-type: none"> 平成24年7月から12月にかけて、富田林商工会、河内長野市商工会、大阪狭山市商工会で実施する。 ・各商工会発 行の商工ニュースで参加募集をおこなう。 講習内容はツイッター、フェイスブックのSNS講習。 ヤフーロコ、グーグルプレイス等の位置情報サービス講習。 スマートフォン等を利用した新しいネットビジネスサービス講習。 企業内のIT化を促進するためクラウドサービスの説明会の実施。 大阪通販道場の南河内事業者版(初級編)の開催。そこから抽出した事業所の販路拡大セミナーの実施。 								
		<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>								
		①府施策連携								
②広域連携		河内長野、大阪狭山市商工会の商工ニュース等で参加事業所を募集。近隣地域で事業を実施することで、地域ネットワークができ、事業に活かすことができた。								
③市町村連携										
④相談相乗										
事業の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	147	支援企業数(実績)	163	支援実績率	110.9%	満足度	82	
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	各種ITセミナーを受講したことで、ITツールの基礎知識を習得することができ、事業に活かせるだけの下地はできたと考えられる。今まで知識が無いため効果的なツールであることは認識していても実際に使うことができなかった事業者も、セミナーを受講したことにより販売促進活動に活かすことができ、新規顧客の開拓から販路拡大につなげ売上の増加へと導くことができた。また、講習会にこられた事業者間での交流が地域のネットワークづくりに結びつき、顧客の共有や事業者間取引等広域連携をすることで相乗効果もあった。								
		指標	経営に対してITスキルの活用度の増加及び販路拡大事業者の増加							
		数値目標	70	実績数値	80	目標達成度	114.3%			
	成果の代表事例	ネットショップを持っていたが有効な使い方がわからなかった事業者が、セミナー受講後SNSを活用しネット販売での取引を成功させ、売上の増加に繋げることができた。								
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度	#DIV/0!				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	セミナー自体の定期開催を要望する声が多く、より商売に活かせる活用方法を聞きたいので次年度も開催してほしいとの声が多くあった。セミナー終了後は個別支援に切り替えてフォローしている状況ではあるが全体に効果がいきわたっているとは言い難い。支援企業を絞りながらより深い支援を実施し、独自でITツールを活用できるような支援をしていく必要があるとともに、セミナー自体もより受講者の要望に応えるような内容にしていく必要がある。								

富田林商工会

事業名		地域若者キャリア形成事業						
想定する実施期間		24 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること						
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	少子高齢化で労働力人口の減少が予想される今、大阪産業の将来を担う若者と企業とを効果的に結びつけることが課題であり、その解決には地域レベルでその実情に合わせたキャリア形成支援と地域企業の人材確保、育成支援を充実させていくことが必要である。そこで、商工会が中心となり地域の資源を活かして産官学のネットワークを構築し、地域の若者を対象とし、地域の中小企業の人材確保に結びつくようなキャリア形成支援とマッチング支援を促進する。						
	支援する対象 (業種・事業所数等)	管内事業者						
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	キャリア形成支援については、地域の若者に対して、企業自らが実体験を兼ねた実践型の支援を実施し、若者が地域で就職を目指すような環境を創りだす。 ○大学と連携しキャリア形成に繋がるものを授業のカリキュラムに組み込みセミナーを実施する。 ①商店街等での若者受け入れ研修の実施（大阪大谷大学、近畿大学） ②地域の中小企業を学生に知ってもらうため、事業主が自ら大学に出向き説明会を実施。 ○マッチング支援については 地元中小企業の情報発信、若者と企業との交流の場を設けることによる地元企業への雇用創出を目指す。 ③1月28日（月）富田林市市民会館で若年者求職面接会を実施。同時開催として富田林市主催の若者就職セミナーを開催。 ④地域の企業紹介HPを作成。						
		<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載> ①府施策連携 若年者就職面接会の広報、連携。JOBカフェ、南大阪労働事務所と事業連携を図り、集客効果を高めることができた。 ②広域連携 各商工会で事業所の募集、面接会の周知。広域で実施したことにより事業所、求人等の増加があり事業効果を高めることができた。 ③市町村連携 求職者の募集を市広報で実施。若年者就職面接会と同時開催で若者就職セミナーを開催。集客効果を高めることができた。 ④相談相乗						
	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	160	支援企業数(実績)	141	支援実績率	88.1%	満足度
事業の実績／目標達成度	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	地域企業と大学との連携を図ることができ、今までは地元企業になかなか目を向けなかった学生にも企業を知る機会をつくることができた。また、学生に自社企業を説明会とは違った視点から説明することができたことで、より深い交流ができ、学生からの質問や意見も新鮮で企業としても得るものはあった。地域密着を理念としている企業もあり事業の目的からも成果はあった。面接会でも地元大学から地元企業に新卒、既卒の雇用が創出できたことも大きな成果である。						
		指標	雇用の創出ができた企業割合					
		数値目標	5%	実績数値	4%	目標達成度	80.0%	
成果の代表事例	成果の代表事例	数か月間新卒の求人を募集されていたが内定が決まらなかった企業が、今回の面接会で新卒者を雇用することができた。						
	その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度	#DIV/0!	
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	事業初年度でもあり、事業自体の進め方や大学との連携など思うように進めることができず結果的に事業実施が遅れ、十分に効果があったとは言い難い。特に面接会は実施時期や企業の実情を把握することができず、求人者募集に影響が出てしまい目標数値に至らない結果となってしまった。そのことを踏まえ、次年度はより大学、企業と連携を深めながら関係機関と調整し、事業を実施していきたい。						